

外壁用創作仕上塗材改修用

JPウォール無機

(水性 1 液有機無機複合樹脂塗料)

外壁を美しく強く再生

JAPAN PAINT MASTERS

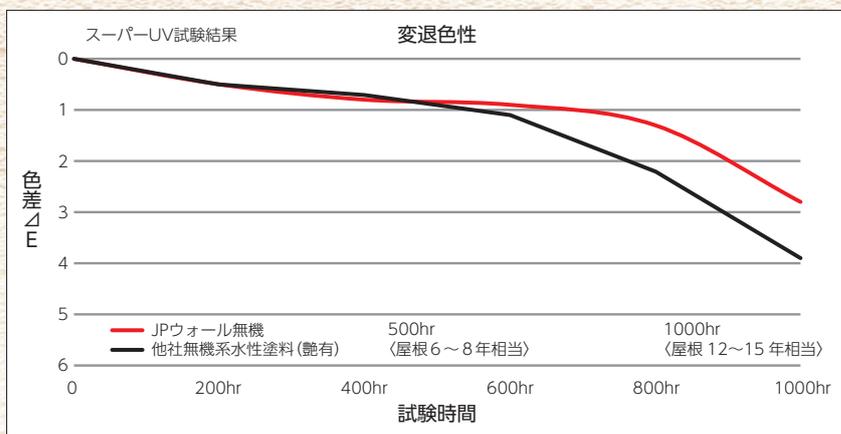
外壁を美しく強く再生

『JPウォール無機』は、水性1液の有機無機複合樹脂を主成分とした、創作仕上材改修用の塗料です。骨材入りのため、無機質感ある艶消しの表情で落ち着いた仕上がりを演出します、有機無機複合樹脂の耐久性により、長期にわたり基材を保護します。

特 徴

①耐候性

水性1液の有機無機複合樹脂は、化学的に強い結合であるシロキサン結合 (Si-O) を多く含有するため紫外線に強い塗膜を形成します。また紫外線により塗膜内に生じる劣化因子 (ラジカル) の発生を抑制する目的で、塗料中には HALS (光安定剤) が導入されていますので、長期にわたり美観および下地保護機能を維持します。



②外 観

骨材入り塗料ですので、一般的な塗料に比べ厚みがあり、艶消のマット調に仕上がります。標準色は 24 色をご用意しています。

③防カビ・防藻

防カビ防藻剤の配合により、カビ・藻の発生を抑制します。

④透湿性

壁面に含まれている湿気を外部へ通気させる事で塗膜の膨れ等の劣化から守り、建物の耐久性維持に効果を発揮します。

用 途

創作仕上材の改修。

カラー見本



RWM-101



RWM-102



RWM-103



RWM-104



RWM-105



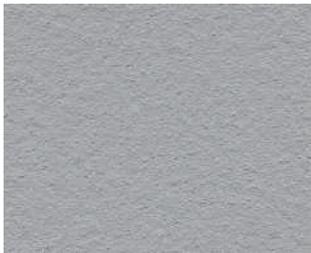
RWM-106



RWM-107



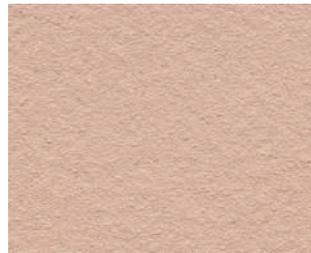
RWM-108



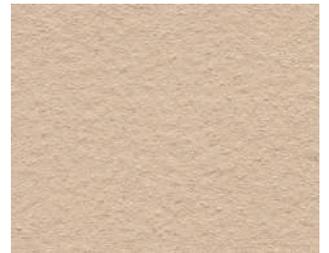
RWM-109



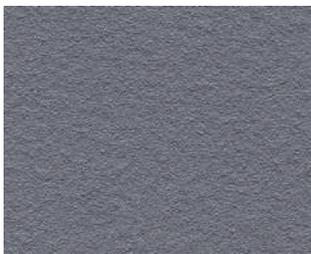
RWM-110



RWM-111



RWM-112



RWM-113



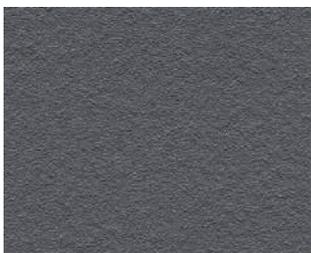
RWM-114



RWM-115



RWM-116



RWM-117



RWM-118



RWM-119



RWM-120



RWM-121



RWM-122



RWM-123



RWM-124

注意事項 ● 写真は印刷インキの為、実物と色調が異なる場合があります。また天然骨材を使用している為、多少の色違いは予めご了承ください。
● 記載商品は仕様等、予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。

材料明細

工程	製品名	成分	色相	荷姿	1 缶の施工面積 (目安)
下塗り	セラ水性シーラー Hi	水性 1 液シーラー	透明	15kg/缶	100 ~ 150㎡
中塗り	セラプライマーカラー Hi	水性アクリル系着色下塗材	上塗共色	16kg/缶	53 ~ 80㎡
上塗り	JPウォール無機	水性 1 液有機無機複合塗料	全 24 色	16kg/缶	34 ~ 44㎡

塗装仕様 (一般有機塗膜の改修)

工程	製品名	荷姿	所要量 Kg/㎡/回	塗回数	施工器具	間隔時間
前処理	劣化塗膜、脆弱部分、汚れ等は高圧洗浄機で除去後、十分に乾燥させてください。					
下塗り	セラ水性シーラーHi 清水 10~30%	15kg/缶	0.10~0.15	1	ウールローラー/ 中毛	3時間以上
中塗り	セラプライマーカラーHi/共色 清水 5~8%	16kg/缶	0.20~0.30	1	ウールローラー/ 中毛	6時間以上
上塗り	JPウォール無機 清水 0~6%	16kg/缶	0.18~0.23	2	ウールローラー/ 中毛	工程内3時間以上 最終養生24時間以上

施工上の注意事項・要点

●塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は、塗装を避けてください。外部の塗装で降雨の恐れがある場合、および強風時は塗装を避けてください。●飛散防止のため養生を行ってください。色相によっては降雨、結露により濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。塗膜性能上問題はありません。●塗装後、24時間以内に降雨、結露があると白化やしみが残る場合があります。●低温、高湿度、通風の無い場合には白化やしみが残る場合があります。乾燥条件によって塗膜に粘着感を感じることがありますが、時間とともに粘着感はなく、塗膜性能上問題ははありません。●笠木、天端など、長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合があります。●たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。●蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)や断熱構造が強い場合で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップなどの弾性塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると、更に膨れが拡大することがありますので、クレンで除去するなどの入念な下地処理を行ってください。●素地の乾燥は十分に行ってください。(含水率10%以下、PH9以下)●ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面、外部の素地において巣穴、段差などがある場合、合成樹脂エマルジョン入りセメント系下地調整材などで処理してください。●表面のごみ、ほこりなどは除去し、目ちがい、ジャンカ、コールドジョイントなどは合成樹脂エマルジョン入りセメントモルタルで平滑にしてください。●新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材として、浸透性のあるシーラーで処理してください。●新設仕様の場合は、シーラーを塗装してください。●下地・旧塗膜が弱い場合は、溶剤形シーラーをお使いください。●塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良となりますので注意してください。●はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合は、塗分量、表面肌が異なり、色相差が出ますので、はけ塗りの部分は、希釈を少くして塗装してください。●ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃える様に仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。●下塗り材の微弾性機能は、塗分量によって異なりますので、所定の塗布量を塗装してください。●よごれ、きずなどにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ず取っておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。●各工程の塗装間隔は、所定の塗り重ね乾燥時間を厳守してください。●シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起すことがありますので、行わないでください。やむを得ず行う場合は、適切な下塗り材処理を行ってから塗装してください。●旧塗膜に発生した藻・かびは洗浄などで必ず除去し清浄な面としてください。付着害を起すおそれがあります。●既存塗膜のはく離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。●劣化した塩ビソル鋼板の上の塗装は避けてください。●乾燥した塗膜に付いた汚れは、シンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。●あらかじめ試し塗りをして色調、仕上がりを確認してください。

安全衛生上の注意事項

●本来の用途以外に使用しないでください。●使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。●粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください。●取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。●必要に応じて個人用保護具を使用してください。●飲みこんだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。●粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診断を受けてください。●暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。●緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。●容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。●施錠して子供の手の届かないところに保管してください。●直射日光や水漏れは厳禁です。●塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。●日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。●内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。●上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。□詳細な内容、表示例以外の事項については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

製造元



日本塗装名人社

株式会社日本塗装名人社
〒463-0098 愛知県名古屋守山区川北町315

☎0120-41-1152
TEL.052-768-4152

販売元

※本カタログの内容につきましては、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。